令和7年3月市議会定例会議

建設水道常任委員会資料

| 議案第32号 | 福島市手数料条例の一部を改正する条例制定の件 | P. 2 |
|--------|-----------------------------|----------|
| 議案第20号 | 令和6年度福島市農業集落排水事業会計補正予算(第1号) | P. 4 |

都 市 政 策 部

議案第32号 福島市手数料条例の一部を改正する条例制定の件

議案書 P.110~119

1 改正の趣旨・背景

省工ネ化による太陽光発電設備の設置等により従来に比べて建築物の重量が大きくなることから、構造の安全性を担保するため「建築基準法」が改正された。構造安全基準等への適合を確認するための審査項目が追加されたことにより、建築確認申請審査手数料額を引上げる。また、省工ネ性能の確保のため、「建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律(通称:建築物省エネ法)」が改正され、原則全ての建築物に省エネ基準への適合が義務付けられたこと等により、適合性判定申請手数料の区分の追加を行う。

2 改正の内容

- (1) 建築基準法改正に伴う改正(図1改正後参照)
- ① 従来と比較し、確認申請の構造等の審査の追加による1件あたりの事務処理時間の増加に伴い、確認申請手数料を引き上げる。
 - ※ 構造等の審査の追加は木造2階建て又は木造平屋建てで延べ面積200㎡超の建築物が対象「別素第1の7の素」

| 建築物に関する確認申請手数料 | 現 行 | 改定後 | |
|------------------|---------|---------|--|
| 30㎡以内のもの | 8,000円 | 9,000円 | |
| 30㎡を超え100㎡以内のもの | 15,000円 | 17,000円 | |
| 100㎡を超え200㎡以内のもの | 23,000円 | 35,000円 | |
| 200㎡を超え500㎡以内のもの | 29,000円 | 39,000円 | |
| 500㎡を超えるもの | 改定なし | | |

② 検査済証の交付を受ける前に建築物の使用を可能とする認定申請の対象に、木造2階建て住宅等が追加されたことに伴い、 小規模な建築物の申請手数料を新設する。

〔別表第1の8の表〕

| 検査済証の交付を受ける前における 建築物等の仮使用認定申請手数料 | 現 行 | 改定後 | | |
|-------------------------------------|----------|---------------|----------------|--|
| 規模 | 1件につき | 200㎡以内のもの(新設) | 200㎡を超えるもの | |
| 金額 | 120,000円 | 27,000円(新設) | 120,000円(改定なし) | |

(2)建築物省エネ法改正に伴う改正(図2参照)

全ての建築物が基準適合義務の対象となることに伴い、性能を計算によって求める場合の適合性判定申請手数料等を追加する。

※ 性能を材料や設備機器の選定によって判断する場合は対象外

〔別表第1の13の表〕

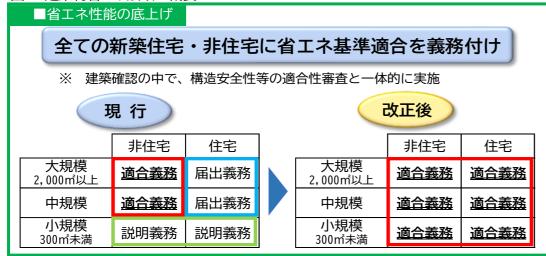
| 区 分 | | 建築物エネルギー消費性 | 軽微変更該当証明 | |
|-----------------------------|------------------|--------------|----------|----------|
| | | 当初 変更 | | 交付手数料 |
| 一戸建ての住宅 | 200㎡未満 | 38,000円 | 19,000円 | 19,000円 |
| ア姓(の任七 | 200㎡以上 | 43,000円 | 22,000円 | 22,000円 |
| 共同住宅等 (一戸建ての住宅 以外の住宅) | 300㎡未満 | 77,000円 | 39,000円 | 39,000円 |
| | 300㎡以上2,000㎡未満 | 128,000円 | 64,000円 | 64,000円 |
| | 2,000㎡以上5,000㎡未満 | 217,000円 | 109,000円 | 109,000円 |
| | 5,000㎡以上 | 311,000円 | 156,000円 | 156,000円 |

3 **条例の施行日** 令和7年4月1日

図1 建築基準法改正概要

「建築確認・検査」「構造審査等」の対象範囲が変わります 改正後 現 行 追加される申請図書 ・ 全ての地域で建築確認・検査が 木造 木造平屋建て 2階建て (延べ面積 構造審査等の**対象** 200㎡超) 確認申請書・図書 構造関係規定等の図書 省エネ関連の図書 平屋建て 等 検査済証交付前の使用制限<u>有り</u> (新たに提出が必要) (新たに提出が必要) 都市計画区域内に建築する際には建築 都市計画区域内に建築する際 確認・検査が必要 に、建築確認・検査が必要 木造平屋建て 構造審査等の<u>対象外</u> ・ 構造審査等の<u>対象外</u> (延べ面積200㎡以下) 検査済証交付前の使用制限無し 検査済証交付前の使用制限無し

図2 建築物省工ネ法改正概要



議案第20号 令和6年度福島市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)

議案書 P.67 補正予算説明書 P.34

農業集落排水事業 <総合経済対策>

1. 事業概要

本市の農業集落排水施設は、供用開始から20年以上経過しており、管路や汚水処理設備機器の老朽化による機能低下や維持管理費の増加が課題であり、対応が必要である。

長期的に、現施設を必要な更新をしながら維持していく場合と、処理施設のサイズダウンや他の効率的な汚水処理方式への切替による維持の場合、公共下水道への接続する場合などをコストや維持管理の効率性などの視点で比較検討し、農業集落排水の適正な経営を図るための計画を策定する。

2. 補正額·事業費·事業内容

(単位:千円)

| 細目 | 節 | 金額 | | 財源内訳 | | | 事業の内容 | |
|-----|-----|----------------|--------|--------|--------|----|-------|--------------------|
| 和田 | 니 | 現計 | 事業費 | 補正 | 国庫補助金 | 起債 | 一般 | サ未り付合 |
| 総係費 | 委託料 | I | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 0 | 0 | 農業集落排水維持管理適正化計画の策定 |
| 計 | | | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 0 | 0 | |

3. 対象範囲

| 処理地区 | 地 区 | 事業区域 |
|------|--------------|---------|
| 小田地区 | 小田、山田、大森の各一部 | 98.8ha |
| 山口地区 | 山口、岡島の各一部 | 213.0ha |

<参考>

○小田地区(供用開始後26年経過)

人口(計画):1,520人、戸数(計画):346戸 汚水処理施設:N=1ヶ所、管渠: L=16,600m

○山口地区(供用開始後23年経過)

人口(計画):2,120人、戸数(計画):510戸 汚水処理施設:N=1ヶ所、管渠: L=20,700m

小田地区



山口地区



下水道建設課